

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
カウンセリング概論 Introduction to Counseling		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(教職課程必修(英語、 栄養教諭))	なし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
心理学				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教職科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小竹仁美	講義棟3階	水・木・金(授業時間と学生相談時間 は除く)		授業中に指示します
授業の概要				
カウンセリングは、クライアントが自分一人では解決できないと感じている問題について、信頼できる人間関係(ラポール)を築き、クライアント自身がそれを解決できるように援助する過程であるといえる。この授業では、①信頼関係の形成、②カウンセリングの基礎理論、③カウンセリングの基礎技術を主たる授業内容とし、カウンセリングの理解と実践力の習得を図る。				
授業の目標				
①カウンセリングの事例を通して、信頼関係(ラポール)の形成の仕方を身につけることができるようにする。 ②主要なカウンセリング理論の歴史と考え方の特徴を学び、心理的問題を各理論を使って捉えることができるようにする。 ③カウンセリングのスキルを体験的に学び、使えるようにする。				
授業の方法				
講義とロールプレイによって、聞く態度と聞く力の習得を図る。				
学習の成果(学習成果)				
①日常的な人間関係とカウンセリングにおける人間関係とは異なるという意識を持って、他者の話を聴くために公平に、誠実に聴く姿勢を身につけることができる。 ②話し手の話す内容を言語的及び非言語的に聴き、話した内容を受け止める態度を身につけることができる。 ③話し手、聴き手、観察者としてロールプレイに参加し、基本的なカウンセリングスキルを身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス：授業概要や目標、成績評価と受講上のルールを説明する。受講生の自己紹介文作成と発表。			
第2回目	自分と他者を知る カウンセリングとは何か			
第3回目	自己紹介と他者紹介 ラポール形成について			
第4回目	言語的なコミュニケーション			
第5回目	非言語によるコミュニケーション			
第6回目	ロールプレイ① 役割交換			

第7回目	ロールプレイ② 二重自我		
第8回目	面接の進め方		
第9回目	効果的な質問の仕方 沈黙への対応		
第10回目	繰り返しと明確化		
第11回目	直面化 支持		
第12回目	カウンセリングの事例を考える		
第13回目	12回目に考えた事例について物語を作る		
第14回目	物語の登場人物になりきって演じる		
第15回目	14回目までの体験を振り返り、陥りやすい思考傾向や使いやすい言葉を整理する		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		60%	ロールプレイや話し合いに真剣な態度で臨んでいる。活発に意見を発表するとともに、他の参加者からの意見を引き出したり、聴いたりする。
レポート		40%	毎回の授業内容に基づいたテーマに沿い、内容構成がしっかりしていて、学習成果が十分に示されている。
調査報告書			
小テスト			
試験			
発表内容(態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
教科書は使用しない。適宜、資料を配布する。			
履修上の留意点・ルール			
積極的に参加し、他の参加者と交流を持つことを期待する。			